

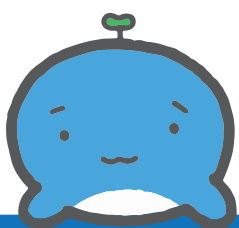


2020.03.15 五郎・畑の前橋下

令和2年のみずから通信 第30号 (令和2年4月)

菜の花の季節：五郎の橋の下は今年もキレイに咲きました

五郎の橋の下は今年もキレイに咲きました。夏にはひまわりが元気よく咲いて青空に映ることでしょう。大洲には花を見るスポットがたくさんあります。『おおず花紀行』なんてポスターを見たことはないでしょうか。春には菜の花に桜、フラワーパークのチューリップ、肱川のシャクナゲ。長浜のエビネも有名です。今年も暖かいので富士山のツツジも早く観られそうですね。



6月には新谷の菖蒲（しょうぶ）、夏にかけてひまわり、涼しくなる季節にはマリーゴールドからコスモス、そして秋にはもみじも各地で見られます。

もみじ狩りの頃には落ち着いているでしょうか。

花見くらいは普通にできるように、早く日常に戻って欲しいものです。

だいきすいしつ
ホームページ

みずから通信のバックナンバーは、PDFで公開中です!!
ホームページからの閲覧はこちら <https://daikisuisitu.com/mizukara.html>



会社内の様子や取組、スタッフのあれこれなど、何気ない日常や情報をご紹介します。

トイレのふた。閉めて流すのが吉？ 日頃から感染症を予防しよう！！

先日テレビで、猛威を振るっている新型コロナウイルスのニュースをやっていて、トイレ（排泄物）からも感染する恐れがあると報道されていました。... 確かに。

排泄物そのものには当然、普通の状態でもバイキンがいて、そのまま触れてしまうと食中毒や胃腸炎になってしまうリスクがあります。それが、〇〇菌や ×× ウイルスに感染されている方の排泄物の場合、感染リスクが高くなってしまふのは間違いないでしょう。トイレに流れていった後でもバイキンは死にません。病気の感染防止の観点からもし尿処理が必要なのです。ちなみに浄化槽では処理の最後に塩素で滅菌して放流しています。

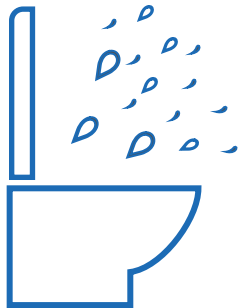
こちらテレビ情報ですが、例えばノロウイルスの場合、排泄後にそのままジャ〜〜〜とトイレを流すと、20〜30cmほどウイルスが巻き上がり（？）何かそのままフワフワ漂ってしまうようです。※

まあそりゃそうだな、と思います。だからフタがある。

流す前にフタをして流すことで、巻き上がり（？）拡散を少しでも抑えられます。流した後に除菌スプレー等でメンテナンスをすれば更に安心。これってコロナに限らず嘔吐下痢やノロウイルスなどのよくある感染症にも共通する大切なことです。

※トイレの種類や、状況によって違うとは思いますが。

詳しくはきちんと統計データがまとめられている論文等の確認が必要です。



トイレの蓋が開いてると
飛散しやすい

トイレのフタは閉める！手洗いもしっかりと！！

トイレのフタを閉めるのが面倒くさい。手で触れる回数が増えるので逆に不衛生？ などというお声もありますが、衛生面で考えればトイレのフタがあることは理にかなっていると思います。（でも、最近の公衆トイレってフタのないところも多いよ

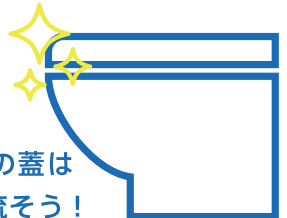
うに思います。悩ましいところ）目に見えない菌やウイルスって対策が難しいですよ。

連日のニュースでも除菌！除菌！と言われてますが、基本は手洗い！

日頃の習慣として身につけましょう。

・・・そういえば、災害時のトイレってさすがにフタはない。

でも、水で流すこともないから、巻き上がり（？）もないですね。



トイレの蓋は
閉めて流そう！

みずから通信“年4回発行”を“不定期”での発行に変更いたします

みずから通信第1号を発行したのは2012年（平成24年）12月1日でした。初めて『社報を作る』という提案をした時、会社はあまり前向きではありませんでした。それでも何とか『私たちの会社には私たちの仕事を知ってもらう為の発信の場が必要』という思いで、本当にたくさんの方に助けていただきながら1年に4回の発行を30号まで発行させていただきました。これまでご協力いただいた全ての方々に感謝申し上げます。

不定期ですが、新しくお伝えしなければならぬ事柄があった際には、みずから通信を発行してまいります。バックナンバーは会社のHPから閲覧できますし、ちょっとしたお話はFacebookやSNS等で随時発信してまいりますので、気になる方はチェックいただくと嬉しいです。

目まぐるしくいろいろな事が変わってしまう時代です。新しいサービスができて、やり方がかわっても、人がかわっても、これからも変わらぬご愛顧をお願いいたします。

